

科目番号	54	科目名	コミュニティ論	
英文科目名	Local Community Studies			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	坂本 清彦 ( 社会 学部 准教授(特任) )			
実施方法	対面授業 遠隔授業		対面・遠隔併用	
教室名		会場	瀬田	
授業期間	2022 年 9 月 20 日 ( 火 ) ~ 2023 年 1 月 17 日 ( 火 ) <毎週 火 曜日> 4 時限・講時 15 : 15 ~ 16 : 45			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験 ( 筆記 )			%
	レポート試験 ( 期末 )		50	%
	平常点 ( 出席・授業態度 )		50	%
	その他 ( )			%
	自由記載			
			<p>【出席について】 小課題の提出などを通じて授業参加の記録はとります。</p> <p>【自己評価について】授業への取り組み姿勢を自己評価してもらいます。自己評価がそのまま成績になるわけではありませんが、最終評価に影響することがあります。</p> <p>【レポートについて】 レポート課題では、授業で学んだことを地域でコミュニティ活動に関わる方々への聞き取り結果などに適用して理解を深めるものです。 講義で概説する基本概念などを理解しないと、レポート作成は難しくなります。また、レポートは文字数そろえて提出すればよいというものではありません。基準に沿って評価しますので、要求を満たせないと低い点になる(さらに平常点が低いと単位を落とす)こともありえます。また、他の人との共同作業に必要なスキルや姿勢を身につけるため、レポートはグループでの取り組みを推奨しますが、個人で取り組んでもかまいません。学年や専攻により、文字数を変える可能性もあります。レポート課題についてその他具体的内容は学期中に指示します。</p>	

別途負担費用	<div style="text-align: center;">(なし)</div> <div style="text-align: right;">あり( )円</div>
<p>その他特記事項</p>	<p><b>【授業時間外における予・復習等の指示】</b>  講義で説明する基本概念などを理解するために、学期を通じて文献を読んで簡単なメモを書く課題(宿題)を出します。  その内容を確認するためのクイズにも取り組んでもらいます。  また、レポートのための文献探索や実地調査も授業外での学習活動として必要となります。</p> <p><b>【履修上の注意・担当者からの一言】</b>  &lt;授業の難易度と受講者をお願いしたいこと&gt;  「コミュニティ」という概念は多様で奥行きも深く、理解するのは容易ではありません。  正直、難しいと思いますが、大学で大学らしいちょっと挑戦的で積極的な学びを体験したい人にはお勧めです。  (難しいとはいえ、きちんと授業に参加し課題をこなしてくれたら、単位はとれます。)  一方で、この授業は1回生から4回生まで、そして他学科・他学部・(京都と滋賀の)他大学の学生にも開放していますから、背景、関心、知識、理解度が異なる多様な受講生が集まり、さらにアシスタント、ボランティア、ゲストも加わります。  それゆえに、講義を聞いて1人だけで学ぶのではなく、わかったこと、わからないことを共有し、参加者がお互いに補い合っ、他の受講生や授業参加者との協働を通じ、積極的に学ぶ場(それこそコミュニティ)としての授業を一緒に創り上げながら理解を進めていこうと考えています。  そして、1つ、皆さんをお願いしたい(いや、約束してほしい)ことがあります。  それは、わからないことや困ったことがあったら、教員、アシスタントやボランティアに相談してください、ということです。  この授業は、内容が難しいことに加えて、対面授業を基本としつつ、オンラインの要素も取り入れて、多少「実験的」なこともやっていきますし、状況に応じてやり方を変えていく可能性もあります。  授業の内容(これはきっとわからないことが出てくると思います)だけでなく、ワークや課題のやり方で不明なことや不安なことがあれば、「こんなことを訊いていいのかわからないか?」などと思わず質問してください。わからなかった理由が「説明を聞いてなかった、読んでなかった」でも、まあいいです(それを何度も繰り返さないようにしてくださいね)。  ということで、「わからなかったら質問する」と約束してください。</p> <p>&lt;授業内容の変更について&gt;  講義内容やレポートを含む課題、授業の進め方については、社会情勢やそれを踏まえた大学の方針、学生の理解度や意向などにより、変更することがあります。  そうしたことが起きる際の基本的な方針として、変更に伴う受講生への不利益を可能な限り避けるため、①受講生には事前にできるだけ早く変更を知らせる、②受講生の負担を理不尽に増やさない、ことを明確にしておきます。</p> <p><b>【オフィスアワー・教員との連絡方法】</b>  毎週火曜日2講時をオフィスアワーとしています。  その他、事前にアポイントメントで相談時間を設けます。  資料配布や授業関連の連絡にはManaba、LINE(オープンチャット)とメールを使います。  これらのいずれかから連絡を受け取れるようにしておいてください。  教員のメールアドレスは a17248@mail.ryukoku.ac.jp です。</p>

## <講義概要・到達目標>

### 【講義概要】

あなたにとって「コミュニティ」とはなんですか？あなたにとって必要なものですか？それとも厄介なものですか？

この講義では、

- ・「コミュニティ」にまつわるさまざまな概念や理論を学び、
- ・大学周辺の地域「コミュニティ」について調べ、学んだ概念・理論を適用してその理解を深め、
- ・これらの学習を通じて、今の時代に「コミュニティ」なるものがなぜ必要であると同時に厄介な存在であるのか考察し、
- ・私たちは「コミュニティ」とどう生きていくべきなのかを考えていきます。

この授業には、教員のほか、アシスタントやボランティア、学内外のゲストが参加し、さまざまな形で受講生の皆さんの理解を促すよう働きかけてくれます。

あなたが関わる「コミュニティ」について、自分自身の問題として、個人、グループワークでの議論やレポート作成を通じて、「コミュニティ」についての理解を深めてください。

そして様々な人たちとのかかわりながら、ただ講義を聞き課題をこなせばいいという受身な姿勢ではなく、積極的な学びの「コミュニティ」としての授業を自分たちで創り上げるつもりで授業に参加してください。

### 【到達目標】

- ・コミュニティ概念の多様性や複雑性を理解する
- ・多様で複雑なコミュニティに関する概念を現実社会の理解に応用できる
- ・なぜ「コミュニティ」が重視されるのか、批判的に理解し、自分の生き方に生かす心構えをもつ
- ・他の履修生、グループのメンバー、自分のコミュニティの人々と協力し働く姿勢とスキルを身につける

### 【講義方法】

PowerPoint、資料、映像マテリアルなどを使い、基本的な概念・用語などを講義と、個人やグループでの資料読解、議論などのワーク、リフレクションペーパーを書くなど、口、手、頭を積極的に使って理解してもらいます。

## <授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	9月20日	オリエンテーション:授業のポリシー・進め方、レポート作成について
2	9月27日	イントロダクション:そもそもコミュニティとは？
3	10月4日	コミュニティ(概念)の多様性
4	10月11日	コミュニティ(概念)の多様性
5	10月25日	コミュニティ(概念)の多様性
6	11月1日	コミュニティ(概念)の変遷
7	11月8日	コミュニティ(概念)の変遷
8	11月15日	コミュニティ(概念)の変遷
9	11月22日	コミュニティ(概念)の変遷
10	11月29日	コミュニティ(概念)への批判
11	12月6日	コミュニティ(概念)への批判
12	12月13日	コミュニティマネジメント・デザイン
13	12月20日	コミュニティマネジメント・デザイン
14	1月10日	なぜ今「コミュニティ」なのか
15	1月17日	総括・レビュー

<教科書・参考書>

【参考文献】

眞鍋貞樹 『コミュニティ幻想を超えて：「善き居場所」の創造』（一藝社）（ISBN:9784863590267）

船津衛・浅川達人 『現代コミュニティとは何か―「現代コミュニティの社会学」入門』（恒星社厚生閣）  
（ISBN:9784769914730）

バウマン、ジグムント 『コミュニティ―安全と自由の戦場』（筑摩書房）（ISBN:9784480098252）

広井良典・小林正弥 『コミュニティ―公共性・コモンズ・コミュニタリアニズム』（勁草書房）  
（ISBN:9784326348800）

伊藤守[ほか] 『コミュニティ事典』（春風社）（ISBN:9784861105388）

広井良典 『コミュニティを問いなおす：つながり・都市・日本社会の未来』（筑摩書房）  
（ISBN:9784480065018）

岡檀 『生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由(わけ)がある』（講談社）  
（ISBN:9784062179973）

指定テキストはありませんが、これら「参考文献」を含む関連文献の一部を課題として読んでもらいます。